



【タイトルについて】

かつもく 3日会わざれば 刮目してこれを見よ (中国の言葉)

これは「人は、別れて3日もすれば大いに成長しているものであって、また次に会う時は、目をこすって違う目でみなければなりません。」という意味です。

人間、だれもが能力を持っています。外見からはわからないほど、色々な能力をもっているのです。この言葉も「3日間というわずかな時間でも、人間は変わることができる」ということを言っています。まして、1年もあれば…これは、もう言うまでもありませんね。

この話から、皆さんには次の3つの事をわかってもらいたいと思います。

- 1 変わるためには「きっかけ」があるということ。
- 2 変わることができるのは、変わるために勉強に励むなど努力を続けたということ。
つまり、人は自分の考え方や行いを「変える」ことで、変わるんだということ。
- 3 自分のために思って言ってくれる人の言葉を「素直」に受け入れたこと。
つまり、この言葉を「きっかけ」に、「素直」にその言葉に従い、自分を「変える」ための努力を惜しまなかったことで大いに成長できたのです。

皆さんは、この阿品台中学校で多くの「きっかけ」に出会えると思います。その「きっかけ」をうまくつかんで、自分を変えてみましょう。「ついに3年生になってしまった。」…「進路」とぼやくのではなく、生徒の皆さんも大いに変わっていく1年にしましょう。

勉強に意欲的に取り組んでいる人も、そうでない人も、それなりに不安・心配はあるものです。皆さんがそれぞれ「自分の道（進路）を自分で決めていく力をつける」ことが、進路指導の目標です。

進路は自分で決める！

ただ、「自分で決める」といっても、決めるまでが大変です。どうやって決めていいかわからないでしょうし、また、決めたからと言っても、それで大丈夫かと

いう不安もあることでしょう。私たち先生は、そんなときこそ「正しい情報の提供者であり、よき相談相手」でありたいと思っています。気軽に相談してください。

進路を考えることは、将来を考えること！

進路は先が見えないから不安なもの。しかし、「不安だ。何をしたいかわからない」と言って、何も取り組めないのが一番いけないことです。「進路を考えることは、自分の将来を考えること」です。そして、その進路選択や進路決定において大切な情報は、毎年のように変わっています。

そこで、確かな情報を確実に提供し、皆さんが「自分で進路を考え、決定していく」目安となるように、3学年・進路通信「刮目」を発行します。その中で進路に関するさまざまな情報や進路に対する考え方なども、どんどん取り上げていきたいと思っています。

この「刮目」で皆さんが一步前へ踏み出すきっかけになることを願っています。

提出期限は、提出日ではない！

最後に、提出期限は必ず守ってください。

3年生では、進路に関わる大切な提出物がたくさんあります。高等学校の提出物など、期限に間に合わないと、受け付けてもらえないもの、結果的に受験ができず、人生に影響を及ぼすようなものなどがあります。

そうならないためにも、提出物は、必ず期限を守ってください。「提出期限は、提出日ではない」ので、早めに出すことを心掛けてください。早く出していれば、間違いがあったときに、修正などができるので、安心だと思います。

家庭学習アドバイス

- 毎日必ず勉強すること。(阿中ノートのパーフェクト提出をめざそう)
- 繰り返し練習すること。授業の復習はその日のうちにする。
- 丸暗記を避ける。内容を理解して覚えるようにする。
- 勉強するんだという意識を持つこと。記憶力は集中力の強さに比例する。